

決算審査

日本共産党えんど久子市議

厳しい別府市の財政

H24年度の別府市の会計についての審査を行う決算委員会が、10月29・30日と11月5日に開かれました。日本共産党からは猿渡（えんど）久子市議が決算の審査に参加しました。

基金は増加

地方財政のエンゲル係数とも言われる経常収支比率は95.1%で、23年度の県内平均91.1%、全国平均90.7%よりも悪く、他市に比べても財政は厳しい状況です。

年少扶養控除の廃止などで個人市民税は増税されましたが、評価替えて固定資産税が減。

主要基金の残高は約97億8000万円と前年度に比べ7億2000万円増えています。障がい者自立支援給付費や生活保護費の増加で扶助費は年々増え18.0%。人件費は年々削減して32.2%です。

清掃センターに112億

えんど久子市議は、ゴミ焼却場藤ヶ谷清掃センター建て替えの別府市負担について質問。24年度は約3億6000万円、これまで負担してきた分とH40年度までの維持管理費を含めた総額は、111億9400万円となります。

清掃センターの重い負担

えんど市議は「財政は厳しく苦勞している状況が続いている中で、藤ヶ谷清掃センターへの負担は非常に大きい。これを議決した広域議会の責任は重い。今後、運転経費を削減するよう広域事務組合に求めるべきだ」と質しました。「経費の節減をお願いしていきなさい」と答弁がありました。

	一般会計決算額	前年度比
歳入	約447億3248万円	6億4000万円減 1.4%減
歳出	約441億1783万円	9700万円減 0.2%減
収支	約6億1000万円の黒字	
実質収支	翌年度への繰り越し財源を除いた実質収支 約4億7000万円の黒字	



ご意見・要望などお寄せください。相談事などもお気軽にどうぞ。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.580
2013.11.13.

農林水産や虐待防止

決算委員会でえんど久子市議は、農林水産費について質問しました。

農林水産課長は「別府市の面積の8割近くが山林・原野・農地で、宅地などは22%。農家は約

農林水産にもっと力を入れよ

えんど市議は「面積の8割近くが農地や山林なのに、農林水産費が少なすぎる。もっと力を入れるべきだ」と述べました。

「中山間地域等直接支払交付金は大変ありがたいものだが、農業振興地域の内成・天間・東山以外は対象外だ。農振地域以外にも何らかの支援が必要では」と質問。「別府市独自の支援なども今後検討していきたい」と答弁がありました。また、えんど市議は別府市が独自に条例を作り災害復旧の農家負担が軽くすむ

5000戸。24年度決算

の農林水産費は約2億8000万円

で一般会計の0.6%。人件費を除くと約1億5000万円」と説明。

よう支援している事業について「とてもありがたい」との声を紹介し、評価しました。

さらに、棚田などを観光に活かすことを求めました。



児童虐待の教訓を活かそう

えんど久子市議は、決算委員会で児童虐待防止の件でも、前年に起きた児童虐待事件の教訓を活かすための取り組みや課題について質問。

臨床心理士を配置したことや、ホームスタート事業など引きこもりがちな家庭への訪問支援について「効果があったが、子育てに悩む家庭がいかに多いかを実感。児童虐待を未然に防ぐためには悩みを聞く場がさらに必要だ」と答弁がありました。

専門知識のある人材を

えんど市議は、これらの取り組みを評価しつつ、「相談員などの指導やアドバイスができるスーパーバイザーが必要」と求めました。児童家庭課長は「10月から半年間、県の児童相談所から派遣で別府市に來ている職員がスーパーバイザーの役割を果たし、体制を強化していく」と答弁。

さらに、えんど市議は「派遣期間が終わる来年4月には外部に人材を求めるべきでは」と要望し、「協議したい」との答弁でした。